

例を参考に鉛筆の使い方に変化をつける練習してみましょう。様々な表情を生み出せるようになれば、質感や遠近の表現にも応用できます。資料映像では実際に描いている様子を視聴することができますので確認してみてください。

- ① ステップ1・2で描いたグレースケールはブロックごとに色を描いていましたが、今回は一筆で描いてみましょう。まずは鉛筆を立て、濃いところから薄いところまでつなげましょう。できたら鉛筆をねかせてもやってみましょう。

濃淡 鉛筆	濃く → できるだけ一筆書きで！ → 淡く
立てて	
ねかせて	

- ② 今度は鉛筆を長めに持ってやってみましょう。鉛筆を長めに持つことで、1より長い線を引くことができると思います。長い線を描くコツは手首を動かして描いてやることです。長い線を引くのが苦手だという方は、繰り返し練習するといいいでしょう。

濃淡 鉛筆	濃く → できるだけ一筆書きで！ → 淡く
長めに持つ	